

第3学年 国語科学習指導案

1. 単元名 書くこと 編集して伝えよう 「日本文化」のガイドブック
2. 単元の目標
 - (1) 読み手に合わせて、記事の内容や形式を工夫して書く。
 - (2) 書いた文章を読み返し、表現を整えて紙面を仕上げる。
3. 本単元で身につけたい情報活用能力
 - A 課題を見つける力
 - B 情報を収集する力
 - C 情報をまとめる力
 - D 集めた情報を効果的に伝えるための表現を工夫する力
4. 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

・「日本文化」に目を向け、テーマを考え、ガイドブックのページを工夫して編集する学習に意欲的に取り組んでいる。

【書く能力】

・目的や相手意識をはっきりさせ、様々な情報を集め、文章の形態や構成を工夫して編集し、分かりやすい記事にまとめている。

5. 単元の指導計画及び評価計画(計6時間)

(情)・・・情報活用能力

	学習活動	教師の支援	評価規準と情報活用能力
① 学習目標・内容の確認と準備 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・「はじめの一步」を読み、分かりやすく興味深い記事の書き方を学び、練習する。 ・日本の文化を紹介するためのテーマを班で選ぶ。 ・個人テーマにどのようなものがあるか、候補を挙げる。 〈編集会議①〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れがわかるプリントや実際のパンフレットなどを用意し、学習の見通しをもたせる。 ・記事の書き方が複数あることを伝え、自分なりの工夫を考えさせる。 ・話し合いや作業を進めやすくするために、編集長を選出し、班ごとにテーマを選ばせる。 ・考えが及ばない班は、図書館資料を渡し、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に見通しをもち、ガイドブックを作成する学習に意欲を示している。(関心)〔観察〕 ・相手意識をもちながら、伝えたい情報をわかりやすい記事にまとめることができる。(書く)〔ノート・ワークシート〕 <p>(情)3-C</p>
② 課題設定と情報収集 2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・個人テーマを決定し、担当を決め、マッピングにより調べたい内容を絞っていく。 ・設定した課題を班で検討する。 〈編集会議②〉 ・資料から情報カードに内容をまとめていく。 ・終わらなかった場合には、家庭学習か昼休みに行く。 【本時 1/2 時】 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を使いながらマッピングの説明を行う。 ・情報カードの使い方を確認する。(学校司書) ・選書アドバイス等個々に行っていく(学校司書)。図や写真等も取り入れさせる。 ・多様な資料を集めさせるため、図書資料だけでなく、インターネットの情報も活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッピングの手法により、テーマに関する内容を広げようとする。(関心)〔ワークシート〕〔観察〕 ・課題を設定し、目的に沿った情報収集を効率よく行うことができる。(書く)〔情報カード〕 <p>(情)3-A,B</p>

③ 情報整理と 構成 2 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から伝えたい内容を整理し、ワークシートに割り付けと下書きをしていく。できたら、班で話し合いを行い、修正を加えながら構成や内容の工夫を図る。 〈編集会議③〉 ・編集会議，教員のチェックを経て，清書を行う。 ・時間内に完成しない場合は，家庭や休み時間に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に表現できるよう，アドバイスを加えていく。 ・〈編集会議③〉では，伝わりやすさ，見やすさ，わかりやすさ，インパクト，編集者の意図が伝わるかをキーワードに検討させる。 ・希望者あるいは早くできた生徒に表紙と目次を作成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでうまく協議をしながら取り組もうとしている。(関心)〔観察〕 ・下書きの修正・加筆等を行い，読む人の興味を引くような文章の形態等を工夫して作品を編集することができる。(書く)〔ワークシート〕 <p>(情)3-C,D</p>
④ 発表・相互評価 1 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎にクラス内発表を行う。 ・学習の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫した点，編集者の意図を入れながら発表させる。 ・相互評価を行うことで編集において大切なことを確認し合う。 〔実物投影機を使用〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を振り返り，学習したことを次に生かそうとしている。(関心)〔自己評価表〕 <p>(情)3-D</p>

※英語の時間に，パンフレットを **ALT** にプレゼントする。

6. 本時の学習活動：課題設定と情報収集

(1) 目標

- ・マッピングや情報収集に興味・関心をもって行おうとする。(関心・意欲)
- ・課題を設定し，目的に沿った情報収集を効率よく行うことができる。(書く)

(2) 展開

学習活動	教師の支援	評価
1. 学習目標と学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物やワークシートを使い，目標や流れを理解しやすくする。 ・情報カードの使い方を確認する。(学校司書) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に見通しをもち，ガイドブックの記事を書くことに興味・関心をもっている。(関心)〔観察〕
2. 個人テーマを決定し，担当を決め，マッピングにより調べたい内容を上げ，更に紹介したい内容を絞っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の具体例を示しながらマッピングの説明を行う。 課題が浮かびにくい生徒には，図書館資料を提示しながらアドバイスをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッピングの手法により，テーマに関する内容を3つ以上書こうとしている。(関心)〔ワークシート〕
3. 設定した課題を班で検討する 〈編集会議②〉考えるポイント例 ・テーマの内容が押さえてあるか。 ・興味・関心をもって読んでもらえそうか。 ・伝えたい事柄が盛り込まれているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えた課題や，友達からの意見を参考にさせるため編集会議を行わせ，その後で教員がチェックを行いアドバイス等を行う。調べていく中で課題が変わっても良いことを伝え，修正や工夫を加えていく余地を残しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えた課題を検討したり，友達のアドバイスを参考にしより良い調べ学習の柱を立てることができる。(書く)〔ワークシート〕
4. 資料から情報カードに伝えたい内容をまとめていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・選書アドバイス等個々に行っていく。(学校司書) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿った情報を的確に能率良くまとめることができる。(書

<p>・次時で終わらなかった場合には、家庭での学習か、学校での空き時間に行う。</p> <p>5. 学習の振り返りを行う。 各自と、編集長の振り返りを聞く。</p>	<p>・資料の丸写しにならないよう適宜アドバイスをを行う。</p> <p>・効果的に表現するために、図や写真等も取り入れさせる。(1～2枚)</p> <p>・多様な資料を集めさせるため、図書資料だけでなく、インターネットの情報も活用させる。</p> <p>・学習目標に対する評価を行い、次時につなげさせる。</p> <p>・本時の振り返りと、次時の連絡を行い、見通しをもたせる。</p>	<p>く)〔情報カード〕 (情)3-A,B</p>
--	---	-------------------------------

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
国語への関心・意欲・態度	マッピングで五項目以上考えた中から更に伝えたい内容を工夫して絞り込もうとしている。	マッピングの方法で、三つ以上書こうとしている。	マッピングで項目が浮かばない場合は、引き出すような発問をしたり図書資料を薦めたりして言葉を引き出すようにする。
書く能力	伝えたい内容や読み手が興味を引くだろうと思う項目から的確に情報を収集し、適切に要約したり図を取り入れたりしながら情報カードに書くことができる。	テーマをわかりやすく説明するための項目や、自分で設定した項目からの的確に情報を収集し、情報カードにまとめることができる。	調べたい事柄が書いてある資料を薦め、調べ方を教える。見つからない場合は、一緒に探して、情報カードに書けるようにする。キーワードや図を拾いながら効率よくまとめるようにアドバイスをを行う。

【参考文献】

「学校評価を生かした授業改善, 授業づくりのためのハンドブック 中学校」島根県教育委員会
「観点別学習状況の評価基準と判定基準 中学校国語」北尾倫彦 監修 図書文化社
「知の編集術」松岡正剛 講談社現代新書